

公会堂に関する市民意見（各種計画のパブリックコメント）

	ご意見の要旨（公会堂に関するもの）	考え方など（各計画等策定時のもの）
六長討議要綱（H30）	1 過去に市に寄贈された美術作品が数千点あるはずだが、市民の目に触れる機会が少ない。倉庫に保管していると思うが、ふるさと歴史館やこれから建て替える公会堂と統合して活用してはどうか。	現在、市の所蔵作品は約2,500点あり、全てを吉祥寺美術館で展示するのは不可能な状態です。現状としては、作品を入れ替えながら常設展で活用するほか、所蔵作品展等により公開します。美術品の性質上、展示可能な場所は限られてしまいますが、展示という方法に限らず、市民に知っていただく機会を提供することは重要だと考えています。 上記の方向性は、文化振興基本方針で示されている方向性に包含されておりますので、計画案には基本方針推進のための体制作りなどを記載しました。
	2 公会堂は20階建て程の日本に冠たるものを作ってほしい。	公会堂については、求められる施設機能の検討を踏まえながら、周辺のまちづくりを注視しつつ、エリアが抱える地域課題の解決に向け、まちづくりと一体的な検討を進める必要があると考え、「都市基盤分野」の基本施策6の（1）に記載しました。
	3 武蔵野公会堂建替えを市民参加で進める。早期に建替えることとして本計画に入れる。	公会堂については、求められる施設機能の検討を踏まえながら、周辺のまちづくりを注視しつつ、エリアが抱える地域課題の解決に向け、まちづくりと一体的な検討を進める必要があると考え、「都市基盤分野」の基本施策6の（1）に記載しました。
	4 武蔵野公会堂は、市民からは現在も吉祥寺のランドマーク的な建物であるといったことを聞くことが多い。更に、武蔵野公会堂は、市政が「基本構想・長期計画」によって運営される前の市政施行10周年記念事業の一環として具体化へ向けて動き出し、建設も市政施行15周年記念事業に位置付けられ具体化された歴史を振り返ると、特に慎重な議論が必要と考える。	公会堂については、求められる施設機能の検討を踏まえながら、周辺のまちづくりを注視しつつ、エリアが抱える地域課題の解決に向け、まちづくりと一体的な検討を進めます。
	5 武蔵野公会堂について。今後の10年で決めるべき事項との認識を示すべきではないか。	
	6 吉祥寺駅周辺について、武蔵野公会堂建て替えは、第六期長期計画中にどこまでの進展を考えているのか。	
	7 武蔵野公会堂の建替えについて、従来の公会堂機能に加え、子ども国際図書館の併設を提案する。幅広く市民の意見を募り、コンセプトを明確にし、未来につなぐ市の姿勢をメッセージとして出せるような事業にすべき。	公会堂については、今後設置される文化施設のあり方を検討する委員会の中で、文化施設の必要な役割や機能が検討されていく予定です。その点を計画案に記載しました。
六長計画案（H31）	8 吉祥寺南口の再開発に対する記述がうすい。公会堂の建設を含め、面としての再開発が必要。井之頭通りのバスの始発バス停は何とかならないか。平成30年度公共施設ワークショップではバスタ吉祥寺の要望もあった。6/23のワークショップでも公会堂を含めた面としての再開発が必要との意見があった。	都市のリニューアルはハードの環境整備だけでなく、地域経済や地域社会も含めたソフトの環境整備も含めて取り組み、関連部課で連携し、多面的な視点から都市再生を推進していく必要があります。
	9 武蔵野公会堂の建て替え問題は、なかなか進展がありません。この第六期長期計画期間中にどこまでの進展が可能なのか、一定の見通しを示すことはできないでしょうか。	求められる施設機能が定まった際には、どのような形にするのかを地元住民等の様々な関係者と話し合いながら進めていくことが大切だと考えます。
	10 公会堂は、井の頭池との絡みでエコプラザとは別に「自然環境センター」として開設してほしい。	ご意見として承ります。
吉祥寺グランドデザイン（H31）	11 「井の頭公園」が唯一無二のものであることは勿論だが、エリアの形成、その他にも「武蔵野公会堂」の存在も、とても大きなものであり、パークエリア全体にとっても重要な存在であるので、もっと議論すべき。公会堂の更新は縮小の方向はありえずスケールアップを第一に考えるべき。	公会堂の文化施設としての役割は委員会でも議論がありました。文化施設のあり方とエリアのまちづくりの視点から更なる議論が必要と考えます。
	12 公会堂の有効活用 ・吉祥寺南口には広場がなく、防災の観点からも課題。地下に多くの観客を動員可能な公会堂をつくり、地上は野音や各種イベント、一時避難所、緊急ヘリポートなどの多目的スペースを整備すると良い。	公会堂については、文化やまちづくりの視点から様々な議論が現在も行われています。現状でも災害時の受入施設の側面も持っており、今後そのあり方が示されていくものと認識しています。
13 駅南地区に防災拠点として可能な構造の建物を建築すべき。公会堂も防災拠点（自律分散型）として使用可能にする。これからは住民にとってもすべての来訪者にとってもいつ地震が来ても安心安全な街という印象を与えることが総てに優先だ。	老朽化しつつある公会堂の今後のあり方については現在様々な議論を行っているところですが、災害時には混乱防止対策の一要素となっています。	

	ご意見の要旨（公会堂に関するもの）	考え方など（各計画等策定時のもの）	
文化施設の在り方検討委員会（R2）	14	特に武蔵野公会堂については、今後長い将来の武蔵野市、特に吉祥寺のブランド力の核となることを自覚して、内外にとって素晴らしい文化施設となるように計画していただきたい。	本委員会としては、これからの文化施設に求められる機能を、第六期長期計画が目指すべき姿との関係から、文化施設による来街者維持や回遊の誘導も含めた五つの点にまとめています。公会堂についても、それらの機能等を踏まえ、今後、総合的に検討・評価を行っていく必要があると述べています。
	15	武蔵野公会堂については、現在民間の力が活用されている、全国的にも良い例を参考に新しい吉祥寺の魅力を発信できる文化施設として生まれ変わって欲しい。子供達と将来を作り上げられる文化の制作の場として生まれ変わって欲しい。	本委員会としては、これからの文化施設に求められる機能を、第六期長期計画が目指すべき姿との関係から、未来ある子どもたちの可能性を引き出す機能も含めた五つの点にまとめています。公会堂についても、それらの機能等を踏まえ、今後、総合的に検討・評価を行っていく必要があると述べています。
	16	公会堂の改修が可能となった場合には、ぜひ駅近という利点を活かした文化施設として生まれ変わることが希望する。大人数が利用できる広いリハーサル室が併設されれば、災害時の他、緊急時の施設としても利用できるだろう。	公会堂については、本委員会が示したこれからの文化施設に求められる機能を踏まえつつ、施設周辺全体のまちづくりと整合性を図りつつ総合的に検討・評価を行っていく必要があると述べています。
	17	武蔵野公会堂は、武蔵野市文化振興基本方針の先駆的・象徴的な文化施設として再生することの検討をお願いする。具体的には、子どもの芸術文化への興味関心を広げ、芸術文化の重要性を学ぶことのできる機能を有するセンターを併設した文化施設を希望する。	公会堂については、本委員会で示したこれからの文化施設に求められる機能を踏まえつつ、施設周辺全体のまちづくりと整合性を図りつつ総合的に検討・評価を行っていく必要があると述べています。
	18	公会堂は市民文化会館と比べ楽屋が満足でなく、防音のリハーサル室がないためプロはあまり利用できないからではないかと思う。仮に、今後施設の改修等でそれらの改善ができたとしたら、プロの利用が増え、アマチュア団体や稽古事の発表が今まで通り利用できなくなるかもしれない。その場合、武蔵野公会堂は芸術文化活動の場として弱くならないよう配慮をお願いしたい。	当面の文化施設の活用として、音楽ホールについては、現在なされている一定のすみ分けのもと、必要に応じて施設の機能更新を図ることが望ましいとしています。公会堂については、施設の更新や延命化を選択肢として挙げており、音の出せる活動場所を設けることも提案しており、参考にすべきご意見として承ります。
	19	第四の点に、武蔵野公会堂の改修で心配している点(再開発による地下高騰→まちの衰退)が書かれていてよかった。	公会堂については、第四の点も含めたこれからの文化施設に求められる機能を踏まえ、今後、総合的に検討・評価を行っていく必要があると述べています。
	20	今ある建物は、できるだけリノベーションでそれぞれの課題解決を	公会堂については、延命化も選択肢の一つとしています。今後は、耐震性や更新費用等も踏まえ、総合的に検討・評価していく必要があるとしています。
21	公会堂については、あの場所が、大型の開発で、渋谷や新宿のような場所になって欲しくない。ウイズコロナで、ハードではなく精神的な繋がりが、大切なのだと認識されているところです。文化は環境も含め生活そのものである。そういう意味も含め公会堂建て替えは慎重にお願いします。	公会堂については、本委員会で示したこれからの文化施設に求められる機能を踏まえ、今後、総合的に検討・評価を行っていく必要があると述べています。	
都市マスタープラン（R2・R3）	22	「吉祥寺ブランド」「武蔵野ブランド」を高めるエリア開発が必要。特に吉祥寺駅南口の再開発は、喫緊・優先課題で、武蔵野市だけの問題ではなく、東京都全体の問題だという認識が必要である。吉祥寺ブランドを高めると同時に、渋滞の解消、防犯防災に強い街の要旨が必要。	吉祥寺地域のパークエリアについて本プランでは、4-4ページに「吉祥寺駅南口駅前広場の整備や武蔵野公会堂のあり方にあわせ、パークエリアの都市機能の更新について検討します。」、6-6ページに「武蔵野公会堂の高齢化は喫緊の課題であるため、交通課題の解決に向けた面的な市街地再編も視野に入れつつ、今後のあり方について検討します。」、「交通課題の解決を目的に、面的な市街地再編を検討するにあたっては、文化・交流施設、商業施設、業務施設、産業支援施設など当該エリアに求められる都市機能について検討します。」と記載しており、引き続きパークエリアのまちづくりを推進していきます。
	23	公会堂を含め、吉祥寺駅南口再開発の構想を実現する計画としてほしい	
	24	本文「まもなく築60年（省略）が不可欠です。」の後に、「また、駅近隣施設という立地であるため、帰宅困難者対応施設としての活用を検討します。」を追記する。 【理由】「(素案)P6、4.社会情勢(1)頻発する災害と地球環境問題の深刻化、感染症拡大の脅威(Point)多発する大規模災害に備えた市街地の安全性の向上」と掲げられている通り、2011年に発生した東日本大震災で首都圏を中心に多くの帰宅困難者が発生したことから、「武蔵野市地域防災計画 第2部 第7章 第3節吉祥寺駅周辺混乱防止対策協議会の活動促進」で対策検討がされたことから、武蔵野公会堂の更新にあわせ、帰宅困難者対応施設としての検討も必要であると考えます。 また、帰宅困難者施設検討するにあたり、エネルギーの確保についても併せて検討することが効果的であると考えます。	武蔵野公会堂については、帰宅困難者用一時滞在施設として利用する公共施設として「武蔵野市地域防災計画」にて位置付けているため、記載しておりません。公会堂の更新についてはエリアの将来像を踏まえ、建替え、延命等の様々な選択肢を含め更新の方向性・方針を検討いたします。
25	取組みの進め方、武蔵野公会堂の更新の項目に「避難所施設対応としての検討」を追記する。		

	ご意見の要旨（公会堂に関するもの）	考え方など（各計画等策定時のもの）
	26 武蔵野市は比較的文化度が高いと感じる。子供・学生・社会人・家族・高齢者それぞれのニーズにあわせて、「知恵・知識の吸収の場」・「就労・起業などの自己実現の機会・場所」を提供するためには図書館等の施設が必要だと考える。また、ホールであれば市内の吹奏楽部や音楽隊（バンド）の発表の場に使うことも考えられる。市長は、公会堂をどうしようと考えているのか、市長としての回答を求めたい。	今後、武蔵野公会堂の耐震性・設備等劣化調査等を行い、その結果も踏まえつつ、武蔵野公会堂が引き続き市民文化の交流拠点・発信拠点としての機能を有していけるよう、パークエリアのまちづくりの将来構想とともに一体的な検討を進めてまいります。また、前述の吉祥寺が抱える交通課題の解決に向け、面的な市街地再編も視野に入れつつ、駅周辺に求められる都市機能を検討し、パークエリアの将来像を立案いたします。
N E X T 吉 祥 寺 2 0 2 1 （ R 3 ）	27 武蔵野文化会館はプロのための営利の施設であって、市民が使える練習室等はありません。吉祥寺南口にある公会堂は、築30年以上で老朽化が著しく、近隣の三鷹市や小金井市の持つホール（三鷹市芸術文化センター、小金井市の施設宮地ホール）に遠く及びません。三鷹市、小金井市のホール付き施設は防音装置つきの練習室が4部屋以上備わっており、絵画や習字、焼き物等の展示会のできるスペースも備えていて、文化・芸術活動を後押ししていることがよくわかります。私たちは武蔵野市民でありながら、武蔵野市に適切な施設がないため、近隣の市のこれらの施設を使わせてもらっている始末です。 武蔵野にはスウィングホールというのがありますが、これも市民が気軽に使える施設ではありませんし音を出せる部屋（練習できる部屋）がありません。同じく武蔵野にある市民会館は老朽化しており、ピアノがあるのは音楽室と会議室ですが、会議室は防音装置がないということで、楽器演奏には使わせてもらえません（ピアノはただ置いてあるだけの飾りです）。 このように音楽一つ例にとっても、市民の文化・芸術活動をサポートするというシステムが機能していないと言わざるをえない。これに関する対策をぜひグランドデザインの中に含めてほしいと思います。 武蔵野公会堂を今後建て替えるときには、三鷹市、小金井市、渋谷区文化総合センター（大和田）、江東区豊洲文化センター等最新の設備を備えた施設をぜひ訪ねて勉強して頂き、参考にし、音響専門家や実際に使用する市民の声を反映させてユーザーにとって使いやすい施設を文化都市武蔵野の顔として作り、是非文化・芸術の発信基地としてほしいと思います。	市政全般に対するご意見として頂戴させていただきます。いただいたご意見については関係課と共有させていただきます。
	28	29 まちづくり計画と一体となった計画とし、費用対効果を十分に検討してもらいたい。「使用期間を20年程度とする」という検討の前提は、20年後に再び大きな再開発を行うという趣旨であるか。
文 化 施 設 整 備 計 画 （ R 3 ）	30 公会堂は吉祥寺まちづくりの大きな要素である。吉祥寺駅南口のまちづくりは今後の吉祥寺の未来を視野に入れ面として考え、改善案ⅠまたはⅡを検討してもらいたい。ホールの機能性とまちの防災機能を兼ね備えた施設、井之頭公園へつながる緑豊かな街になることを希望する。	一方、ご意見のように、施設周辺の面的整備を行うとした場合には事業が長期に渡る事が想定されることから、施設の使用期間を残り20年程度と設定して、費用対効果等も勘案して改善案Ⅱの優位性が高いと考えました。吉祥寺パークエリアのまちづくりについては、武蔵野公会堂の改修検討と並行して、まちの将来像を検討するための試案づくりを進めてまいります。
	31 迅速に改装すべき。全て改装してもいい。デザインなど美しく吉祥寺にふさわしいものが良い。一般の市民が行きつけになる施設にしてほしい。	今後の検討にあたっては、安全・安心、経済性という視点に加えて、まちとのつながりを持ち、市民の皆様が愛着を持っていただけるような施設を目指してまいります。市としては、一部増改築案（改善案Ⅱ）の優位性が高いと考えておりますが、今後の具体的な検討において、ご意見を参考にさせていただきます。
	32 講演会等で利用する観客視点からすると、化粧室が非常に利用しにくい。暗い階段が、高齢者には困難である。	ご意見のとおり、化粧室や暗い階段をはじめ、バリアフリー化への対応ができていない部分もあるなど、改善が必要であると認識しています。今後、経済性の視点も含めて総合的に検討してまいります。
	33 現在、ホールからの音漏れがあるため、防音対策に加えて、使用時のルールの徹底（演奏時にはホールの扉を閉じる）をお願いしたい。	改修等にあたっては、ホールの防音性能向上や、安全・安心な施設を目指して、経済性の視点も含めて総合的に検討を進めてまいります。
	34 防犯上、火災の危険なども含めて、隣地のマンションとの間などにも、できるだけ死角が生じないような設計をお願いしたい。	

## 指定管理者モニタリング評価\*のためのアンケート調査より抜粋

※毎年度「公の施設」モニタリング評価のため、施設利用者にアンケート調査票（A4裏表1枚）を配布して満足度の回答を求めているもの。サンプル数は概ね200。

◇は5段階評価での回答、○は自由記載欄から施設に関する主なものを抜粋。

### R3

◇バリアフリーの配慮（n=183）

：不満29.5%、やや不満24.0%、普通27.9%、概ね満足7.7%、満足10.9%

○エレベーター（不便、高齢者は不安・苦痛、怪我をすると困る など） 34件

○トイレ（場所、水漏れ など） 4件 ○空調（寒い）

○その他（小さい部屋を希望、駅近くで便利、不便だが予約しやすい、入口が暗い など）

### R2

◇バリアフリーの配慮（n=162）

：不満24.1%、やや不満19.1%、普通28.4%、概ね満足15.4%、満足13.0%

○エレベーター（不便、荷物が運べない、設置して欲しいなど） 17件

○トイレ（古い、不便、わかりにくいなど） 8件 ○空調（調節しにくい）

○その他（入口が暗い、畳が古い、建替え不要、建替えを望む など）

### H31

◇バリアフリーの配慮（n=191）

：不満19.9%、やや不満11.5%、普通24.1%、概ね満足17.3%、満足27.2%

○エレベーター（設置要望、車いす） 16件

○トイレ（場所、ウォシュレット、洋式化 など） 7件

○空調（効きが悪い、効き過ぎ） 4件 ○防音（会議室で外の音がうるさい） 2件

○ホールの椅子狭すぎ 1件

○その他（机が移動できない、レトロな雰囲気が好き、駅に近くて良い など）

### H30

◇バリアフリーの配慮（n=164）

：不満23.8%、やや不満23.8%、普通33.5%、概ね満足10.4%、満足8.5%

○エレベーター（設置要望、バリアフリー配慮） 27件

○トイレ（場所、温便座、古い など） 6件

○空調（効きが悪い、効き過ぎ） ○防音（廊下の音が聞こえる）

○ホールの椅子が狭い

○その他（コピー機希望、小さい会議室を増やしてほしい、暗い、立地が良い など）

### H29

◇バリアフリーの配慮（n=174）

：不満27.0%、やや不満24.1%、普通28.7%、概ね満足10.9%、満足9.2%

○エレベーター（設置要望、階段が厳しい） 48件

○トイレ（場所、ウォシュレット、洋式化 など） 13件

○空調（効きが悪い、効き過ぎ）

○その他（待機場所がない、場所が良い、古いが落ち着ける など）

## 運営上の課題・利用者からの意見など（指定管理者からのヒアリングによる）

### <ホール>

- ・ 舞台裏の控室の広さ・数が不足していることから、会議室・和室で代用することが多いが、代用した部屋から舞台へ移動するのに、ロビーを通過する必要がある。
- ・ 舞台裏の控室が舞台至近のため、ホールへの音漏れが生じやすい。
- ・ 舞台裏にあるトイレは狭く、演者も含めて、客席のトイレを利用せざるを得ない。
  
- ・ 専用のピアノ庫がなく、舞台袖を設置スペースとしているため、舞台袖も狭い（ピアノはS39年から貸出しあり）。
- ・ 通常舞台面が見える位置にある操作室がなく、舞台袖に音響・照明の操作機器が設置されている。舞台袖で音響・照明を操作しているため、ホールへの音漏れも生じやすい。
- ・ 東西幕がないため、客席から舞台袖が見えてしまう。
- ・ 綱元が舞台袖にむき出しになっており、客席から見えてしまうのみならず、利用者の手が届くところにあるため危険である。
- ・ 客席からトイレを利用する際に使う通路が舞台袖まで繋がっており、舞台袖に迷い込む観客もいる。
  
- ・ 駐車場から舞台への機器搬入に際して、搬入車を搬入口につけることが出来ない。搬入口手前に階段があり、台車の利用も難しいうえに、移動経路上に屋根がなく天候の影響を受けやすい（雨天時の機器搬入は、施設正面入り口を利用し、ホール客席面からとなる場合もある）。
- ・ 搬入口と舞台が至近であり、本番中の出入りが必要な際に音漏れ、明かり漏れが生じる。
  
- ・ 緞帳の位置が舞台前面ではなく奥行の四分の一程度後方にあり、演出上の妨げになっている（釣り物設置位置等の制限、終幕演出の制限等）。
- ・ 天井反射板の一つ（客席側設置）が固定式となっており、緞帳位置同様演出上の制限となっている。また、同反射板前方に照明や緞帳を後付けしたため、同反射板がほぼ意味をなさなくなっている。
- ・ 4か所ある側面空調吹出し口の後方2か所が客席の真横にあたり（過去に客席前方がフラット仕様だったところに傾斜客席を設けたことによる）、客席への影響上同2か所を使用していない。また、空調音も相当程度大きい。
- ・ 側面がガラス戸であり、遮光カーテンは設置してあるが明かり漏れが生じることがある。また、遮光カーテンにより音響に影響がある。
- ・ 客席上部の照明が暗いうえに配置にも均等性がなく一部に特に暗い客席があり、資料等を見ながら実施するイベントの場合に支障が生じている。また、交換も足場を組んで行う必要がありメンテナンスが困難である。

### <会議室など>

- ・ ホールで行うほどの規模ではないイベントを出来る場所がない。
- ・ ロビーがホールに付随しており、施設内で待てる場所がない。
- ・ 防音の設備がなく、他の部屋や廊下の音が響く。